

令和5年度 活動計画

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護師の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

2 活動計画

- 1) 定例会：年12回
- 2) 研修会：年2回 延定員300名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し、看護師職能委員会Iの活動を周知する

2 活動計画

- 1) 職能集会・講演会：年1回 定員150名

公益目的事業（研修会）

項目	内 容	開催日	場 所	募集人数
研 修 会	テーマ：「コロナ禍で継承されなかった看護を取り戻そう ～家族看護の視点から～」 講師：柳原 清子 (長野県看護大学 成人看護学分野 教授)	R5.10.28 (土)	神奈川県 看護協会	150名
	保健師職能・助産師職能・看護師職能I・看護師職能II合 同研修 テーマ：検討中 講師：未定	R6.1.26 (金)	同上	検討中

会員支援事業

項目	内 容	開催日	場 所	募集人数
職能集会	令和4年度事業報告・実態調査報告 令和5年度事業計画	R5.7.15 (土)	神奈川県 看護協会	150名
講 演 会	テーマ：「看護の可能性～ナースの多様な働き方～」 講 師：川添 高志氏 ケアプロ株式会社 代表取締役 ◆ハイブリッド形式にて実施			

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	看護の可能性 ～ナースの多様な働き方～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	川添 高志氏（ケアプロ株式会社 代表取締役社長）		
開 催 日 時	令和 5 年 7 月 15 日（土） 14:00～16:00		
目 的	新たな看護の価値や未来、役割拡大について考える機会とする		
内 容	講演		
場 所	神奈川県ナースセンター研修室（神奈川県総合医療会館 5 階）ハイブリッド方式		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	59 名 （会員 54 名・非会員 5 名）
まとめ・評価	<p>1. アンケート回収 27 名 回収率（委員を除く） 58.7% 1) 会員：26 名 2) 非会員：1 名</p> <p>2. 職種 1) 看護師：26 名 2) 助産師：0 名 3) 保健師：0 名 4) その他：1 名</p> <p>3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ：12 名 2) 看護協会のホームページ：11 名 3) 上司からの情報：4 名 4) 友人・知人からの情報：0 名 5) その他：0 名</p> <p>4. 参加動機 1) 自ら進んで：22 名 2) 上司の勧め：3 名 3) ホームページを見て：1 名 4) その他：1 名</p> <p>5. 感想 1) 非常に良かった：16 名 2) 良かった：9 名 3) 普通：1 名 4) やや期待はずれ：1 名 5) 期待はずれ：0 名</p> <p>6. アンケート内容 ・新しい考え方や柔軟な発想などを学び看護の可能性が広がった ・いろいろな分野と協働して看護を活かす場が広がる現状を学んだ。 ・看護師としてのキャリアを考える上でも、様々な取り組みは参考になった。</p> <p>7. 評価 講師の川添氏は、ケアプロ株式会社を起業し、「ワンコイン検診」「ALL SPORTS NURSE」等の普及により健康的な社会づくりに貢献されている。多様な働き方のひとつとして、起業した動機や実際の活動などについての講義であった。グループワークでは情報発信や情報共有の場となり、多様な働き方について視野が広がり、具体的なモデル事例としてのプロセスを学ぶことが出来た。 今回は、研修の参加者が少なく、また、アンケートの回答率も低かった。今後、受講者を増やすための周知や、アンケートの回収率を高めるためのインフォメーションの工夫などに取り組んでいきたい。アンケートの回答の結果としては、約 92.6%以上が良かったと回答しており回答してくれた受講者のニーズには応えられたと評価する。 今後は、アンケートの項目についても、研修毎に検討していきたい。</p>		



看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	コロナ禍で継承されなかった看護を取り戻そう ～家族看護の視点から～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	柳原 清子氏（長野県看護大学 成人看護学分野 教授）		
開 催 日 時	令和5年10月28日（土）14:00～16:00		
目 的	家族の思いや看護師のかかわりを学び直すことで、コロナ禍で継承されなかった家族看護を取り戻す機会とする。		
内 容	講演		
場 所	神奈川県看護協会第1研修室（神奈川県総合医療会館6階）ハイブリッド方式		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	72名 （会員64名・非会員8名）
まとめ・評価	<p>1. アンケート回収 49名 回収率（委員を除く）79% 1) 会員：64名 2) 非会員：8名</p> <p>2. 職種 1) 看護師：48名 2) 助産師：1名 3) 保健師：0名 4) その他：0名</p> <p>3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ：21名 2) 看護協会のホームページ：13名 3) 上司からの情報：14名 4) 友人・知人からの情報：0名 5) その他：1名</p> <p>4. 参加動機 1) 自ら進んで：36名 2) 上司の勧め：9名 3) ホームページを見て：3名 4) その他：1名</p> <p>5. 感想 1) 非常に良かった：20名 2) 良かった：22名 3) 普通：5名 4) やや期待はずれ：2名 5) 期待はずれ：0名</p> <p>6. アンケート内容 ・1つの情報からあらゆることを読み解く力が必要と学んだ。 ・家族看護についてコロナ禍で迷走していたので、大変学びになった。 ・現場での困りごとを整理して考えてみることの大切さを実感した。</p> <p>7. 評価 コロナ禍で継承されなかった家族看護の研修は、アンケートの結果からも満足度が高く、タイムリーなテーマであったと評価する。目で見ている情報だけに頼るのではなく、渡辺式家族看護事例分析シートを用いることで、患者や家族を捉える円環的思考などを学んだ。今後の家族看護をアセスメントするツールとなった。 ホワイトボードを使用する講義はWEB研修になって初めてであったが、ハイブリット研修では両受講者への対応が困難であったため、プロジェクター等、今後検討したい。講師との事前打ち合わせで、講義内容や進め方により、ホワイトボード、グループワーク、動画の共有など講義方法の検討が必要である。 アンケート回答は、後日送信となったが回答率が良く、満足度も高かった。今後も受講者のニーズに合った研修を企画していきたい。</p>		



「メンタルヘルスと自殺問題」 河西 千秋 氏
 (札幌医科大学医学部神経精神医学講座主任教授)

1 アンケート回収率

受講者	69
アンケート回収	42
アンケート回収率	60.9%

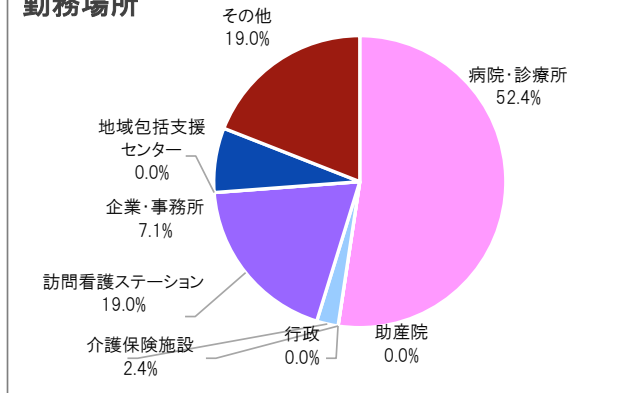
2 勤務場所

n = 42

病院・診療所	22
助産院	0
行政	0
介護保険施設	1
訪問看護ステーション	8
地域包括支援センター	0
企業・事務所	3
その他 *1	8

*1 教育機関、神奈川県看護協会
 障がい者支援、未就職

勤務場所

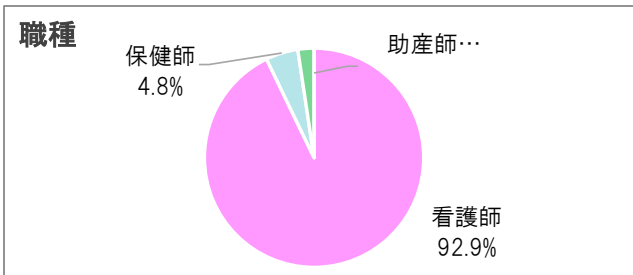


3 職種

n = 42

看護師	39
保健師	2
助産師	1
准看護師	0

職種



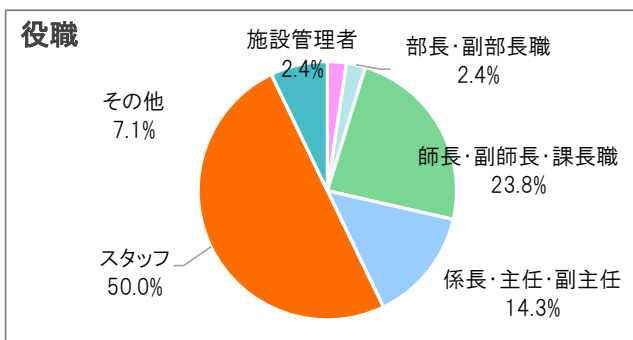
4 役職

n = 42

施設管理者	1
部長・副部長職	1
師長・副師長・課長職	10
係長・主任・副主任	6
スタッフ	21
その他 *2	3

*2 理事、未就職

役職

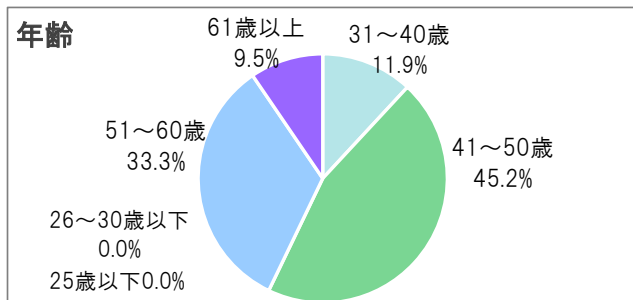


5 年齢

n = 42

25歳以下	0
26～30歳	0
31～40歳	5
41～50歳	19
51～60歳	14
61歳以上	4

年齢

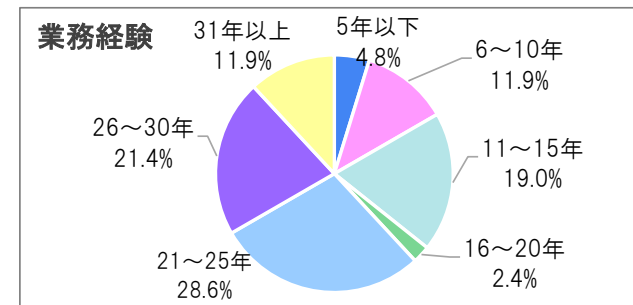


6 業務経験

n = 42

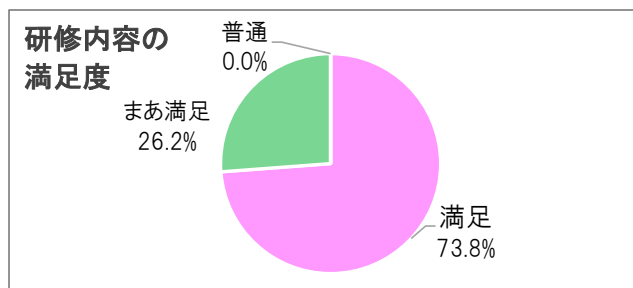
5年以下	2
6～10年	5
11～15年	8
16～20年	1
21～25年	12
26～30年	9
31年以上	5

業務経験



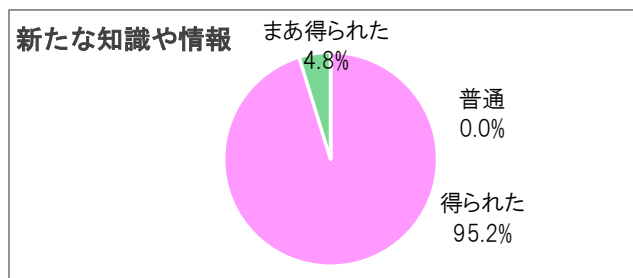
7 満足度 n= 42

満足	31
まあ満足	11
普通	0
やや不満足	0
不満足	0



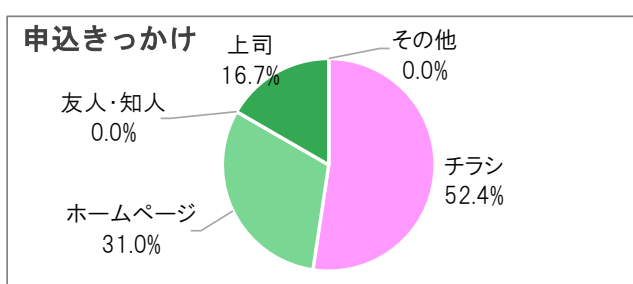
8 新たな知識や情報 n= 42

得られた	40
まあ得られた	2
普通	0
あまり得られない	0
得られない	0



9 研修会の申込みきっかけ n= 42

チラシ	22
ホームページ	13
友人・知人	0
上司	7
その他	0



10 感想・意見など

初めて知った知識もあり、とても勉強になった。

自殺発生件数の少なさや介入の難しさから医療安全や教育的な危機感が低く、他職種による役割や教育、支援基盤の見直しが必要だと感じました。

とてもわかりやすかったです。看護学生時代後輩が自殺したのを思い出しました。

参考文献読みたくなりました。

自分が関われるかわからないですが、日常から注意深く観察して役立てて行ければとおもいます。

「自殺をする人の98%は精神疾患を罹患している。」が衝撃だった。

事例検討会に是非参加してみたいと思った。

市町村の自殺対策のお話をもっと聞きたかった。

質問しづらい。

看護学生のメンタルヘルスに関する実践も参考にできそうな部分もあった

おせっかいの具体はどうしたらいいのかなど。自分の学生時代と考え方なども違う部分も多く、診断等も未確定な対象にどう接したらよいか、学ぶ機会があったらうれしい

ひと学年80人のうち、連日10人前後が登校できていない状況もあり、これまでにない経験をしている

きちんと自殺の講義を聞いていなかったのも、とても良かった。

自殺が大きな問題とされているのに、確かにあまり具体的な動きが現場レベルではまだまだ進んでいないことや、知識不足を実感し、正しく理解して周知していく必要があると思いました。自死や病死に関わらず、死と向き合う事態になった人にたいする一般的なケアが向上することを願います。

とても参考になり、新しい知識を得られました

自分の知識がアップデートされ、学び深い研修でした。現場で活かしてゆきたいと思います

メンタルヘルスケアに関する研修には参加したことがあったが、特に自殺について詳しく学んだのが初めてでした。先生の講義はとても興味深く、自身が知らないことが多いと痛感しました。管理者として、学ぶ必要があると実感し、研修に参加して本当に良かったと思いました。自殺する人の98%が精神疾患があると知り、正常な判断ができない状態であることを改めて知り、予防に対する介入ができるのではないかと考えることができました。短い時間でしたがとても有効な時間でした。ありがとうございました。

開始時間、研修内容変更の可能性があるという事前連絡がありがたかった。

ホームページの本日の研修にタイトルが載ってはいましたが、欲を言えば、変更の可能性がある連絡が入ったものには「予定通り開催します」的なものを「お知らせ」に上げてもらえると安心できます。

内容によっては出席したくありませんので、時間と交通費をかけて到着後にじっくりしたくはありません。

自殺の98%が精神疾患とは知らなかった

自殺した方の98%が精神疾患であるということに驚いた。精神科の訪問看護もしているの、常にそのことを考えて利用者に自殺の話がでた時にそのことを念頭煮おき対応できるようにしたいと思った。

沢山の貴重な内容のお話でしたが、スピードが速く着いていくのに必死でした。少し遠いところにあった問題が、今回グッと近づいた気がします。個人的な質問にも返答いただきありがとうございました。

参加者の意欲も感じました。

本日はありがとうございました。

これまでも、患者様のメンタルフォローはもちろん、スタッフにも目を向けてきました。特に最近では適応障害やうつ病の既往があるスタッフが多く、何気ない一言でスタッフ間の問題に発展したり、ハラスメントに訴えたりメンタルの診断書が提出される事が少なくありません。伝えた事と全く違う捉え方をして、自殺を口にし被害者になってしまうスタッフの対応に悩むことが増えました。定期的に、今回のような研修に参加して学ぶ事で対応を知ることもできるかも知れません。河西講師の研修に参加させていただきありがとうございました。

目から鱗が落ちる事ばかりでした。法制度について改めて知る機会となりました。今日の講義内容は導入で、テキストを購入して更なる学習が必要だと思いました。事例検討を多職種で行うことは、患者さんを知る上でとても大切だと感じました。当校におきましても、メンタルが不安定になる学生が少なくないです。今までは腫れ物に触るように関わって来ましたが、今後は寄り添いの姿勢で適切な関わりができると思われます。質疑応答の時間も充実していて、より具体的に理解することができました。悪天候の中、遠路はるばる来て頂きありがとうございました。

大変勉強になりました。

先生のお話を拝聴しながらスライドを見るのに、レジメがあるともっと理解しやすかったと思います。本日の講義内容の資料を事後でもいただけたらうれしです。

研究データや先生の臨床経験が具体的で、分かりやすかったです。施設に戻ってから共有します。また機会がありましたら、多職種の連携の実際や、地域との医療、福祉の連携の実際を教えてくださいたいです。

現代人はメンタルが弱い人が多いな、と感じていました。

私自身、身内の自殺を防いだ経験があります。でもそれで終わり、とは感じておらず今現在も真面目な話をするとき、言葉を選び反応を見ながら対応しています。自殺する人の98%は精神疾患、その数字にも驚きましたし、その深層心理の中には「生きていたい」その気持ちが隠されてることも再確認出来ました。心の問題は数値化出来ませんので、関わり合いがとても重要です。命の明かりを消さない様、看護師としてシグナルをいち早く見つけ、少しでも心に明かりを灯していけるような存在になれるよう、人として成長していきたいと強く感じました。

いかに自殺させないよう、周囲への気配り、目配りが大切だと学びました。

河西先生の優しい口調と分かりやすい講義内容であつという間でした。スライドが資料として配布されるもしくはホームページからダウンロード出来るより良いです。また、先生の講義を拝聴させて頂きたいです。特に周産期にまつわること(早産や胎児異常、精神疾患既往など)に特化した内容をお願いします。

内容はとても有意義なお話でしたが、2時間30分水分も取れず、同体勢で座りっぱなしは、喉が渴き腰痛等にはかなりの苦行で、講演の終盤は集中力に欠けました。

5分で良いので休憩を設けるか、質問込みで2時間以内で設定頂けると幸甚です。

自殺対策に向けての知識や、予測しながらの関わり方の重要性を痛感しました。

自殺対策に向けての知識を得ること、またリスクのある方への関わり方の必要性を痛感しました。

スタッフに対してのメンタルヘルス、自殺問題の研修と思っていました。これまでの経験の中で、入院患者が自殺をする！という事はなく、あまり実感が湧きませんでしたが、多くの患者が悩み、自ら命を落としている現状がある事がわかった。またその方々は精神疾患のある方…入院患者の中には精神疾患を患っている方も多くいる。師長ではありますが、医療安全管理者として従事しているため、事故発生時の対応や患者対応時の声掛け、立ち振る舞いなど、改めて医療安全管理者として考えさせられる研修となった。

予防、つながりを続けることが大事でとても学びが深まりました。

定期的に情報があると嬉しいです

自殺する権利はあると思うか？という問いに、今まで考えたこともなかったと気づきました。それと同時に、なんで自殺を止めようと予防しようとしているのかもはっきり言葉にすることができないくらい何も考えていませんでした。自分の行動、辛そうだからそっしておこうは見えて見ぬふりをしてっていると先生が話され、反省し今後しっかり考え具体的に行動しようも思いました。

自殺する人は、98%精神疾患である
自殺者、治療対策が実績が出ている
現状が知れて、良かったです。

11 今後開催して欲しい研修等

ハラスメント予防、対策

暴力予防対策

医療者に対するメンタルヘルス、身体ヘルス問題など興味あります。

学生にどうかかわる？

10代とか20代など若年者に対するサポートや、実践

働き方改革、多様性への対応

ハラスメント、コンフリクト

グリーフケア

医療従事者のメンタルヘルス管理について

IT化が進んでいますが、今看護記録はどうなっているんですか？病院以外の現場では特にどうなっていくのか不安があり

引き続き自殺関連が欲しいです

内容がズレますが、前回参加した研修では会場でアンケートの入力を依頼されました。本日は自宅で実施できたので、改めて資料を見ながら、復習を兼ねて時間制限なく解答できて良かったです。

病院から地域とのつながり、社会資源の活用の実際、患者さんや家族、地域より求められている医療、福祉の内容などを学びたいです。

スタッフに対するメンタルケア

医療安全に関する研修

今後もメンタルヘルスや自殺の現状は、
継続して、定期的に行って欲しいと思いました
今回は、貴重なお時間ありがとうございました。

令和5年度 活動報告

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療・福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

2 活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	参加者数
定例会	1) 事業の企画・実施・評価 2) 実態調査・計画・実施・まとめ	全11回 (1月中止)	神奈川県 看護協会	委員11名
研修会	テーマ:「コロナ禍で継承されなかった看護を取り戻そう～家族看護の視点から～」 講 師:柳原 清子 (長野県看護大学 成人看護学分野 教授) ◆ハイブリッド形式で開催	R5.10.28 (土)	同上	72名
	◆保健師職能・看護師職能IⅡ・助産師職能と合同研修 テーマ:「メンタルヘルスと自殺問題」 講 師:河西 千秋 (札幌医科大学医学部 神経精神医学講座 主任教授)	R6.1.26 (金)	同上	69名

III 会員に対する支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し、看護師職能委員会Iの活動を周知する

2 活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	参加者数
職能集会	令和4年度看護師職能委員会I活動報告 令和5年度看護師職能委員会I活動計画	R5.7.15 (土)	神奈川県 看護協会	59名
講演会	講演会テーマ: 「看護の可能性～ナースの多様な働き方～」 講 師:川添 高志 (ケアプロ株式会社 代表取締役社長) ◆ハイブリッド形式で開催			